

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	0	部屋の中を構造化して使い方を明確にしている。また、集団が分散できている。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1	0	適切ではない時もある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	0	扉をなくすなど、危険な場所を減らしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	0	6	1	職員間の意思疎通の場としては、毎月の会議が主だが、その他にも意見交換の場が必要。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	0	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	0	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	1	非常勤職員に対しては最低限行っているが、常勤職員への外部派遣研修は少ない。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2	0	子どもの状況を把握するのが第一であるが、ご家族のニーズも面談、連絡ノート、電話等で把握し、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	0	アセスメントシートは使用しているが、職員全員で確認できていない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	4	1	職員会議等で意見を出し合って決めていることもあるが、全てそこで決められず、一部の職員で決めることもある。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	5	0	子どもたちの意見を取り入れ、変更する場合もあるが、変更が多いと定着せず混乱する場合もある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3	0	それぞれ課題を設定してるが、職員間の共有ができていない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	4	0	意識的に個別と集団を組み合わせるというより、必要に応じて個別から集団へ移行のタイミングを見極めて支援している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	0	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	0	5	2	支援終了時間がそれぞれ違うため、次の支援開始前に、前回の振り返りを同時に行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	1	5	1	記録は一部の職員が付けている。パソコン上で管理しているので、今後全員読めるようにしておく。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	0	職員会議を活用し、定期的にみんなの意見を反映し、計画の見直しができている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4	2	0	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	3	0	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	保護者に下校時刻を記入していただき、その時間に送迎している。トラブルの際は、学校、保護者と連絡を取っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	2	0	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	0	情報共有はしているが、相互理解までは至っていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	0	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	0	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	0	矢川プラスや国分寺プレイステーションなどへ行き、交流の機会を得ている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	0	児童通所施設連絡会に必ず参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	送迎時や定期面談、見学週間の際に連携している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	0	放デイで行っている支援をご家庭でも共有することで、より効果的につながると思われるので、職員もペアレント・トレーニングを学び、保護者と共に支援できることが望ましい。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	3	0	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	0	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	0	保護者の方は相談先が少なく、不安も多いと思う。また利用者同士の些細なトラブルにも敏感になっていることも多い。保護者同士の連携があれば、これらの課題も解決しやすいのではないかなと思う。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0	できるだけ速やかに対応していきたい。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	1	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4	3	0	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1	0	視覚的にわかりやすい絵カードをどり入れたり、手話などを活用している。 配慮で来ている場面と、できていない場面がある。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	1	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3	1	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2	0	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	0	お互いの考え方、見方が共有できないことがあるので、疑いがある場合は、職員が当事者同士で話し合うシステムを作ることが必要。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2	0	身体拘束について、それぞれの事情があり、伝え方については伝わっていない可能性もある。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	0	対象者がいない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	1	ヒヤリハット報告は毎月行っている。